

TOWISE

インストール手順書

- ◆ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ◆ このソフトウェアは、Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

はじめに

本書は、TOWISE のインストール手順とデータ保守ツール、NT アプリケーションキー管理の操作について記載しています。

TOWISE の各アプリケーションの操作方法については、付属のスタートアップガイド等を参照して下さい。

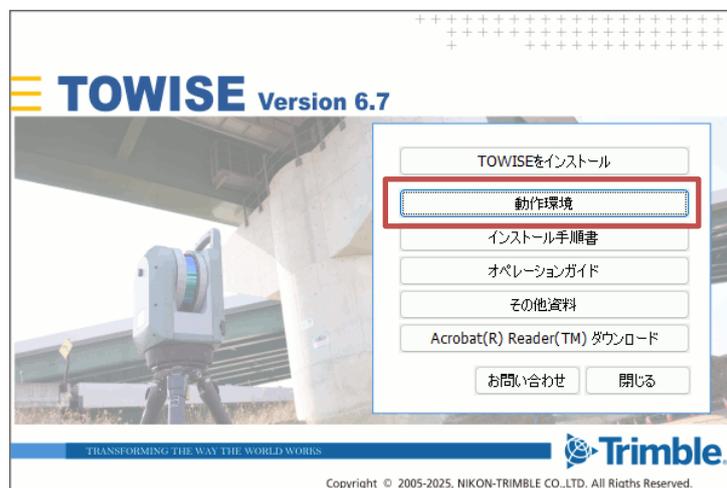
目次

はじめに.....	3
インストールの前に.....	4
動作環境	4
ライセンス認証方式.....	4
データのバックアップについて.....	5
GUIDER ZERO を TOWISE へ変更する場合	5
インストール.....	6
インストールに必要なもの	6
インストールディスクイメージのダウンロード.....	6
インストール手順	6
アンインストール手順	13
プログラムのアンインストール.....	13
インストール後のライセンス更新	14
データ保守ツール	15
データ保守ツールの起動	15
条件一括保存/呼出、共有素材の一括保存/呼出	15
条件保守ツール.....	16
データ保守ツールの保存先について.....	16
NT アプリケーションキー管理.....	17
管理ツール.....	17
ライセンス認証方式：セキュリティキー方式	17
取り外し中の残り時間の確認と通知について	18
ライセンス認証方式：オンライン認証方式.....	19
アクティベーション中の残り時間の確認と通知について	20
注意事項および制限事項	21

インストールの前に

動作環境

TOWISE の動作環境については、インストールディスクイメージ内の動作環境、またはリリース資料をご覧ください。



ライセンス認証方式

TOWISE のライセンス認証方式には大きく以下の 3 つの方式があります。

- ◆ セキュリティキー方式
 - ◆ オンライン認証方式
 - ◆ ネットワークライセンス方式
- } スタンドアローンライセンス方式

セキュリティキー方式

TOWISE アプリケーションを実行する為にセキュリティキーが必要です。セキュリティキーには、ソフトキータイプと USB メモリーキータイプがあります。

USB メモリーキータイプ 例



※USB メモリーとしても利用でき、特別なドライバーを必要としないタイプ

センチネルソフトキータイプ 例



※専用のドライバーが必要なタイプ。(ドライバーは本インストールで自動的にインストール)

注意

センチネルソフトキータイプの利用について

- ◆ コンピュータへ初めて TOWISE をインストールする場合は、インストールの前にセキュリティキーを接続しないようご注意ください。
- ◆ インストール前にセキュリティキーを接続した場合、自動的に表示される Windows ドライバーのセットアップ画面は、必ず「キャンセル」して下さい。

オンライン認証方式

インターネット上のサーバーでライセンスされたコンピュータを管理する方式です。

TOWISE アプリケーションを利用するにあたって、セキュリティキーや NT ネットワークライセンスサーバーは不要です。TOWISE アプリケーションを利用するには、インターネットへの接続環境が必要です。

セキュリティキー方式とオンライン認証方式はどちらも、ライセンス方式としては「スタンドアロンライセンス方式」になります。

ネットワークライセンス方式

NT ネットワークライセンスサーバーをインストールした LAN 内のサーバーコンピュータでライセンスを管理します。TOWISE をインストールしたクライアントコンピュータからサーバーコンピュータに接続してライセンスを取得する方式です。

TOWISE アプリケーションを利用するには、クライアントコンピュータを LAN に接続する必要があります。

ポイント

ネットワークライセンス方式では、セキュリティキーはライセンスサーバー側にのみ接続します。

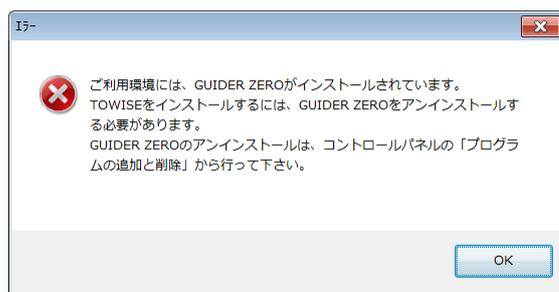
データのバックアップについて

TOWISE の再インストールやアンインストールでは、作成したデータや設定内容が削除されることはありませんが、万々に備え、インストールの前にはデータをバックアップすることをお勧めします。また、大切なデータは定期的にバックアップすることをお勧めします。

GUIDER ZEROをTOWISEへ変更する場合

PC に単体インストールされた GUIDER ZERO を TOWISE へ切り替える場合は、一旦 GUIDER ZERO のアンインストールが必要です。

アンインストールせずインストーラを起動すると次のようなメッセージを表示し、TOWISE のインストールを中止します。



アンインストールは『GUIDER ZERO インストール手順書』の「アンインストール手順」をご参照ください。

インストール

インストールに必要なもの

- ◆ ライセンスコード通知書またはプログラム管理情報（スタンドアロンライセンス方式の場合）
- ◆ インターネット環境（インストールディスクイメージのダウンロード時やオンライン認証方式の場合）

インストールディスクイメージのダウンロード

弊社ホームページよりインストールディスクイメージをダウンロードします。Microsoft Edge などの Web ブラウザを起動して、以下の URL をアドレスバーに入力します。

<https://www.nikon-trimble.co.jp/support/installer.html>

製品別ダウンロード一覧から「TOWISE」をクリックし、対象バージョンのインストールディスクイメージ（ISO ファイル）をダウンロードします。

インストール手順

(1) インストールメニューの起動

ダウンロードしたインストールディスクイメージ（ISO ファイル）をダブルクリックすると、ディスクドライブとしてマウントされ、Windows エクスプローラーで内容が表示されます。ドライブルートにある「InstMenu.exe」を実行してください。



注意

セキュリティキー方式のライセンス認証方式で、コンピュータへ初めて TOWISE をインストールする場合は、セキュリティキーを接続せずにインストールを開始してください。

補足

ダブルクリックでマウントできない場合は、下記の手順でマウントを行ってください。

ステップ 1. ISO ファイルを右クリックします。

ステップ 2. コンテキストメニューから「マウント」をクリックします。

※「マウント」が表示されない時は、右クリック「プログラムから開く」>「エクスプローラー」を選択します。

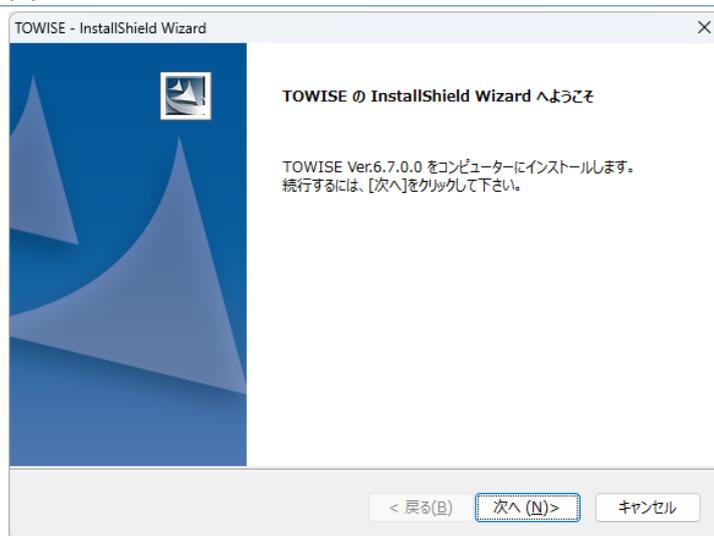
ステップ 3. 「PC」で新たに作成された仮想ドライブが表示されます。

※本書の TOWISE インストール CD として使用できます。

ステップ 4. ドライブ内の「InstMenu.exe」を直接実行してください。

マウントを解除する場合は、仮想ドライブ上の右クリックで表示されるコンテキストメニューから「取り出し」をクリックします。

(2) インストールの開始



インストールを開始します。以降、画面の内容を確認しながら「次へ(N)」をクリックします。

※インストール済みの環境への上書きインストール時は、本書に記載のインストールフォルダーの変更はできません。インストールフォルダーの変更が必要な場合は、アンインストール後にインストールして下さい。

(3) 使用許諾契約への同意



使用許諾契約に同意の上、「はい(Y)」をクリックします。

(4) プログラム管理情報更新の選択

上書きインストール時のみ



このページは、既に TOWISE をインストール済みの環境に上書きインストールする場合のみ表示されます。

プログラム管理情報を更新するかしないかを選択して、「次へ(N)」をクリックします。

更新しない場合は**(7) セットアップタイプの選択**へ進みます。

更新する場合は**(5) ライセンス方式の選択**へ進みます。

(5) ライセンス方式の選択

ライセンス方式を選択し、方式に応じた情報を入力して「次へ(N)」をクリックします。

ライセンス方式と入力内容についての詳細は、次頁を参照して下さい。

ライセンス方式について

◆スタンドアローン—ライセンスコード指定

ライセンスコード通知書に記載のライセンスコードを入力します。

※「次へ(N)」をクリックすると、インターネットへ接続してプログラム管理情報を取得します。インターネットに接続できない環境でインストールする場合は、下記「プログラム管理情報ダウンロードツール」をご利用ください。

◆スタンドアローン—プログラム管理情報パス指定

プログラム管理情報をコンピュータにセットして、そのパスを指定します。

◆ネットワークライセンス

ネットワーク上のライセンスサーバーコンピュータ名を指定します。

※事前に、ライセンスサーバーコンピュータへNT ネットワークライセンスサーバーをセットアップしておく必要があります。

ポイント

「オンライン認証」のライセンス認証方式について

「オンライン認証」のライセンス認証方式は、ライセンス方式としては「スタンドアローン」方式となりますので、「ライセンスコード指定」もしくは、「プログラム管理情報パス指定」を選択してください。

ポイント

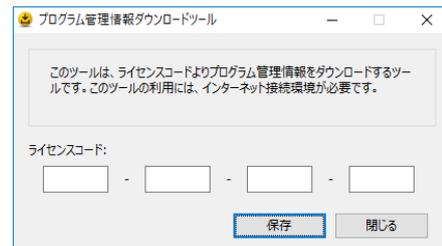
「ライセンスコード指定」モードについて

「ライセンスコード指定」モードは、TOWISE Ver.5.4.0.0 から対応された新しいプログラム管理情報の提供方法です。製品をご購入の際に送付される「ライセンスコード通知書」に記載されたライセンスコードを入力して、インターネット経由でライセンスを取得する方式となっていますので、インストールにはインターネット接続が必要です。

ポイント

「プログラム管理情報ダウンロードツール」について

インターネットに接続できない環境では、「ライセンスコード指定」モードでインストールすることはできませんので、あらかじめインターネット接続可能な環境でプログラム管理情報をダウンロードし、「プログラム管理情報パス指定」モードでインストールして下さい。
プログラム管理情報をダウンロードするためのツールは、インストールディスクイメージ内に収録されています。

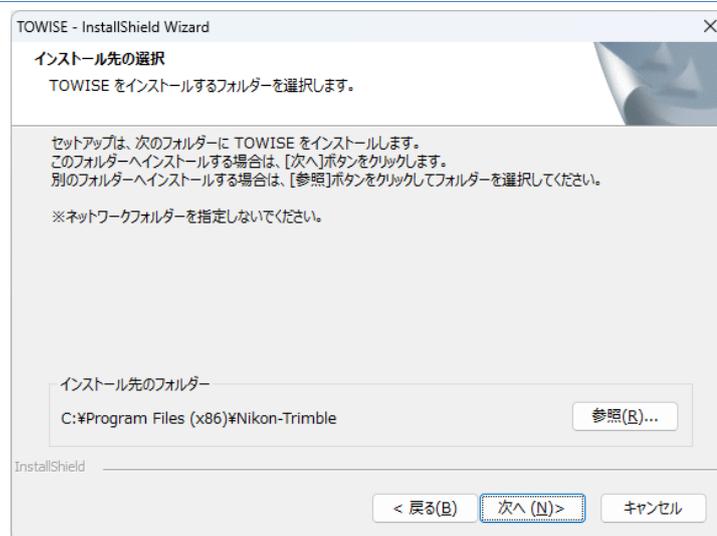


<プログラム管理情報ダウンロードツール>

仮想ドライブ:¥Tools¥ntlcl¥NTWebDownloadTool.exe

新規インストール時のみ

(6) インストール先・データ保管先の選択



インストール先のフォルダを設定し、「次へ(N)」をクリックします。

以降、データ保管先の選択画面が続きます。
それぞれのフォルダについては、次頁を参考に設定して下さい。

※各フォルダの設定先には十分な空き容量を確保して下さい。

フォルダ設定の概要とフォルダ初期値

※()内は各設定フォルダの初期値

- ◆インストール先フォルダ (C:¥Program Files¥Nikon-Trimble)
プログラムファイルをコピーする場所を指定します。
※ 約 900MB 程度の空き容量が必要です。
- ◆データ保管先 1/3 (マイキャビネット) (C:¥TOWISE_Data¥マイキャビネット)
コンピュータ内にキャビネットデータを保存する場所を指定します。
※ データを格納するのに十分な空き容量が必要です。
- ◆データ保管先 2/3 (共有ラック) (C:¥TOWISE_Data¥共有ラック)
ネットワークキャビネットのデータを利用する際に、システムがローカルコンピュータ内にデータを

保持する場所（テンポラリ）を指定します。

◆データ保管先 3/3（システムデータ）（C:\¥TOWISE_Data）

パーツ（点・線・面・混合）や図枠などの素材データ、システムデータを保管する場所を指定します。

※ ユーザーカスタマイズデータもこの場所に保管されます。

※ 約 550MB 程度の空き容量が必要です。

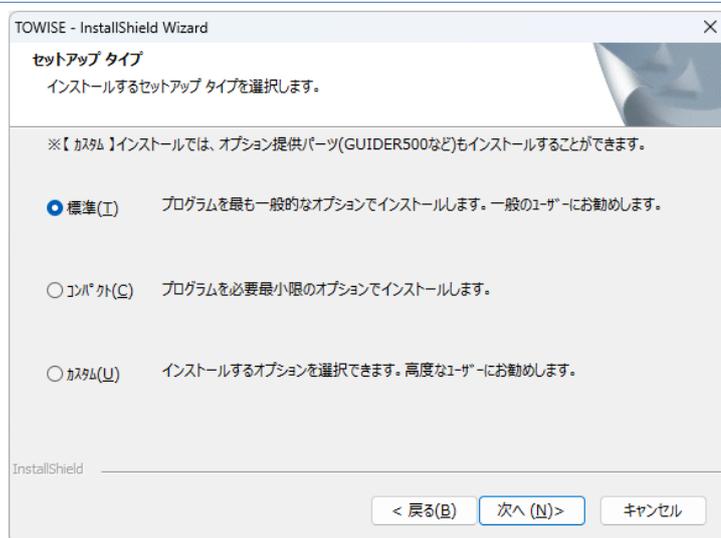
注意

各フォルダにネットワーク上のフォルダを指定することはできません。また、動作の安定性や作業中データの保全に影響がないよう、ローカルコンピュータ内の固定ディスク上のフォルダを指定して下さい。

ポイント

- ◆ ネットワークキャビネットは、インストール完了後に TOWISE DataCabinet の基本設定で設定できます。
- ◆ 「マイキャビネット」、「共有ラック」は、同じ基本設定でインストール後に変更できます。

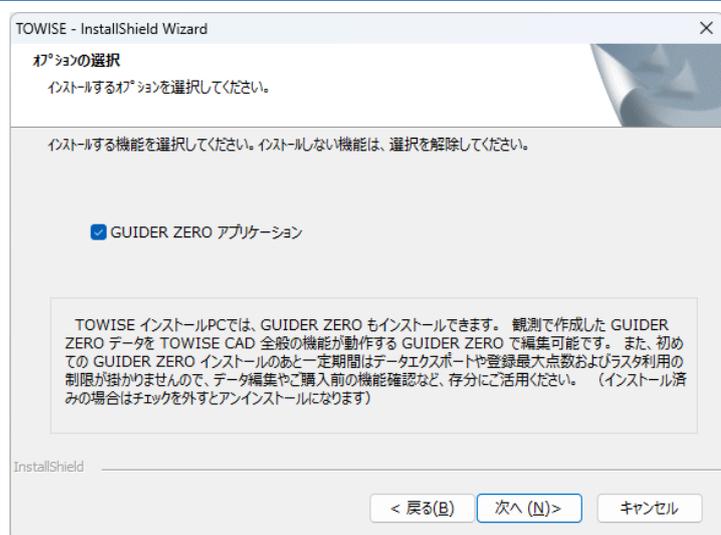
(7) セットアップタイプの選択



セットアップタイプ（標準）を選択して、「次へ(N)」をクリックします。

※セットアップタイプ「カスタム」では、必要に応じてインストールできるパーツを選択できます。

(8) オプションの選択



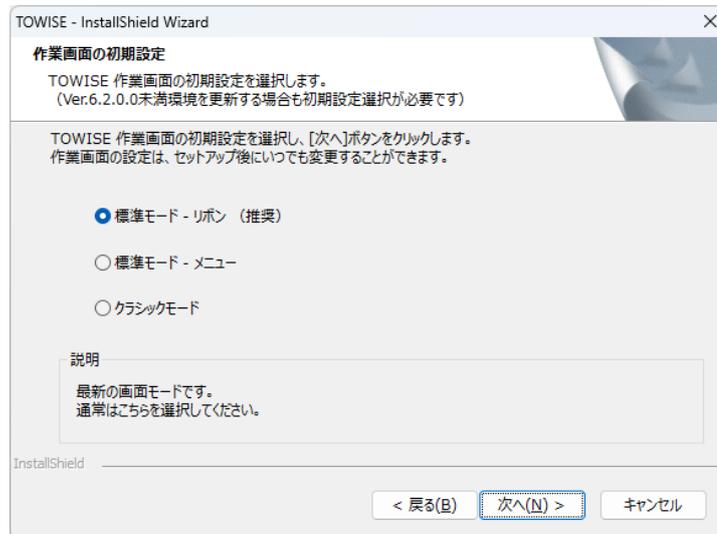
GUIDER ZERO アプリケーションを同時にインストールするかを選択します。

インストールする場合はチェックをオンにして「次へ(N)」をクリックします。

ポイント

- ◆ 初めてのインストール後 60 日間は、GUIDER ZERO の全ての機能を利用できます。
- ◆ 60 日経過後、登録最大点数やデータエクスポートなどに制限が掛かります。

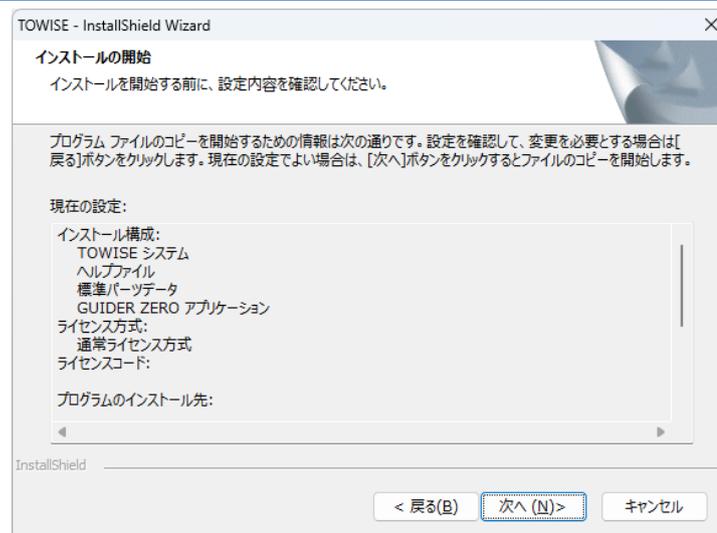
(9) 作業画面初期化モードの選択



新規インストール、またはVer.6.2未満の既存環境へ上書きインストールする場合は、作業画面の初期化モードを選択します。

「標準モード - リボン」、「標準モード - メニュー」または「クラシックモード」を選択して、「次へ(N)」をクリックします。

(10) セットアップ内容の確認

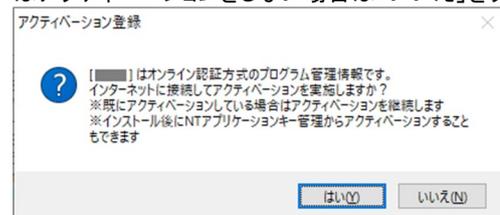


導入内容の確認が表示されます。

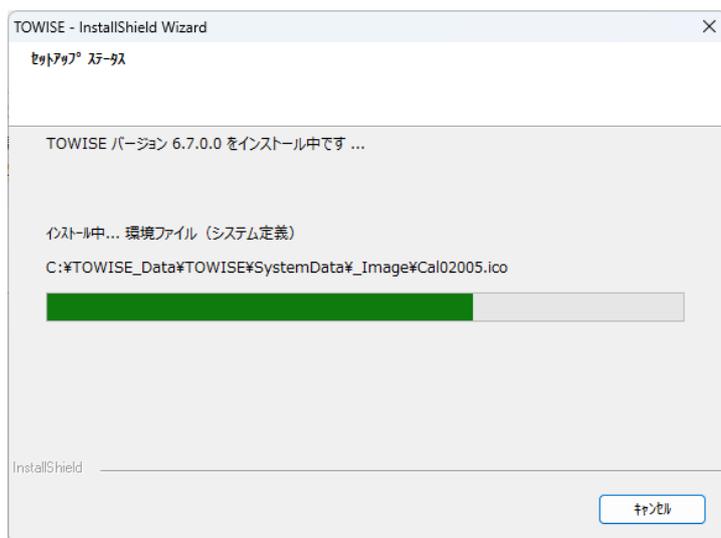
「次へ(N)」をクリックすると、インストールが開始します。

ポイント

スタンドアロンライセンス方式で、プログラム管理情報がオンライン認証方式の場合は、NT アプリケーションキー管理のインストールの後に、インターネットに接続してアクティベーションを実行するかの確認メッセージを表示します。その場でアクティベーションする場合はインターネットに接続されていることを確認し「はい」を、今はアクティベーションをしない場合は「いいえ」をクリックしてください。



(11) セットアップ中



セットアップ中の進捗が表示されます。

ポイント

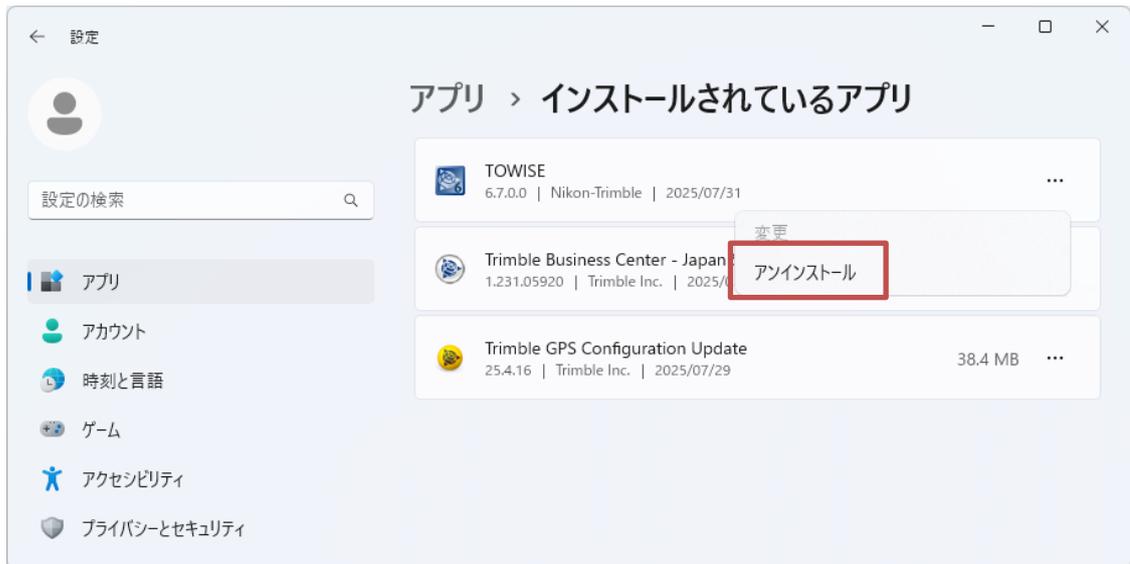
- ◆ コンピュータに初めて TOWISE をインストールする場合は、必要に応じて「セキュリティキードライバー」がインストールされます。
- ◆ 自動的に「NT アプリケーションキー管理」がインストールされます。
- ◆ ネットワークライセンス方式の場合、自動的に「NT ネットワークライセンスクライアント」がインストールされます。

アンインストール手順

TOWISE をコンピュータから削除します。
プログラムをアンインストールしても、作成したデータや設定が削除されることはありません。

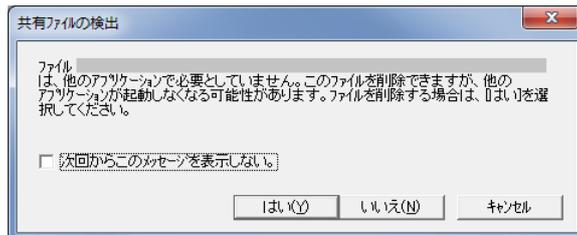
プログラムのアンインストール

1. ご利用の OS に応じたアンインストール機能を起動します。
2. 「TOWISE」を選択します。
3. [アンインストール]をクリックします。



注意

アンインストール中に、「共有ファイル検出」メッセージが表示される場合があります。



メッセージが表示された場合は、「次回からこのメッセージを表示しない」を選択し、「いいえ」をクリックして下さい。共有ファイルは、他のソフトウェアでも共通利用している可能性があります。誤って削除すると動作に支障が出る場合がありますのでご注意ください。

インストール後のライセンス更新

オプションパッケージを追加購入した場合は、プログラムを再インストールすることなくプログラム購入情報だけを更新することができます。

インストール済み環境のライセンス方式により、更新方法が異なります。

◆スタンドアローン方式

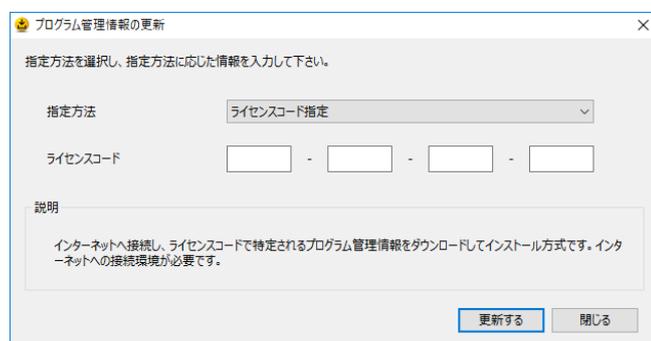
ライセンスモニターからプログラム管理情報を更新することができます。

ライセンスモニターの起動

スタートメニュー>ニコン・トリンプル>TOWISE>ユーティリティ>ライセンスモニター



プログラム管理情報の更新をクリックすると、「プログラム管理情報の更新」ダイアログが起動します。



指定方法を選択し、方式に応じた入力を行ってプログラム管理情報を更新します。

ライセンスモニターで「ライセンスの切り替え」をクリックした場合は、NT アプリケーションキー管理が管理しているプログラム管理情報の一覧を持ったダイアログが表示されますので、その一覧の中から選択します。

◆ネットワークライセンス方式

NT ネットワークライセンスサーバーの管理ツールから実行します。詳しくは、NT ネットワークライセンスサーバーのスタートアップガイドを参照して下さい。

注意

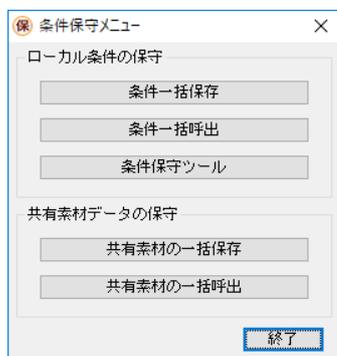
インストール済みのバージョンとプログラム管理情報のバージョンが異なる場合は、プログラムの再インストールが必要になる場合があります。

データ保守ツール

各アプリケーションで設定した条件や書式、パーツデータを外部メディアへ保存、または呼び出します。

データ保守ツールの起動

スタートメニューの「プログラム」 「ニコン・トリンプル」 - 「TOWISE」 - 「ユーティリティー」 から、「データ保守ツール」をクリックします。



ローカル条件の保守

- ・条件一括保存
- ・条件一括呼出
- ・条件保守ツール

すべての条件データを一括保存します。
条件一括保存のデータ呼び出します。
条件を選択して保存・呼出を行います。

共有素材データの保守

- ・共有素材の一括保存
- ・共有素材の一括呼出

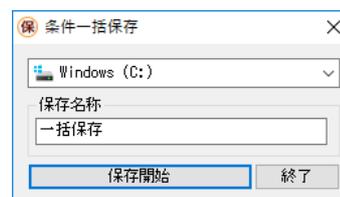
すべての共有素材を一括保存します。
共有素材の一括保存データを呼出します。

条件一括保存/呼出、共有素材の一括保存/呼出

操作方法

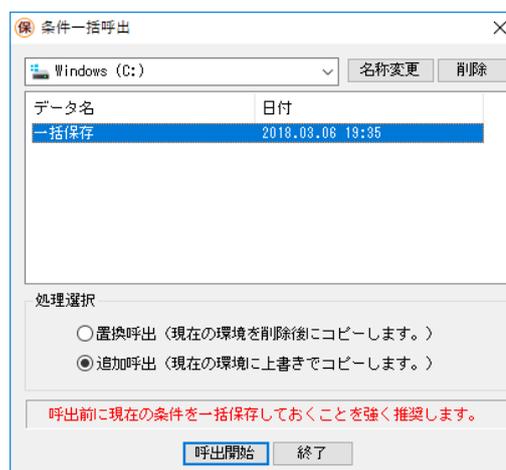
「条件一括保存」

保存先ドライブを選択し、保存名称を入力して保存を開始します。



「条件一括呼出」

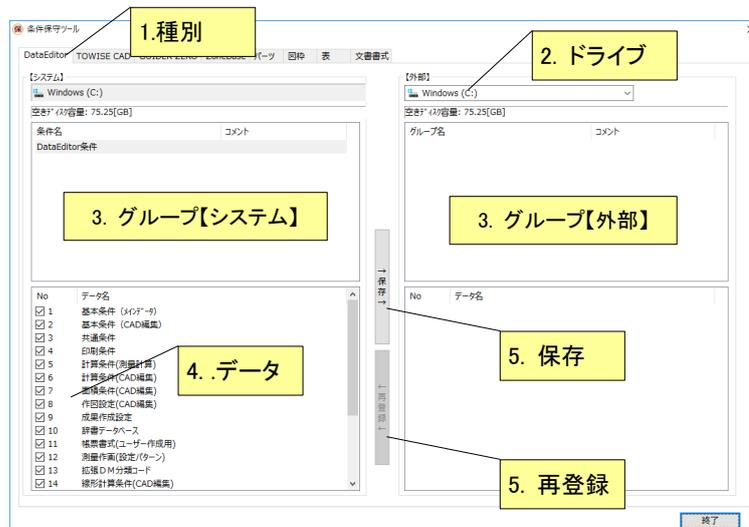
データが保存されているドライブを選択します。表示されたデータから目的のデータを選択します。呼出し処理を選択して、呼出しを開始します。



条件保守ツール

操作方法

1. 種別を切り替えます。
2. ドライブを選択します。
3. グループを選択します。
【システム】と【外部】のグループを対応付けて宛先を指定します。宛先にグループが無い場合は自動的に作成し、同じ名前前で登録されます。
4. データにチェックを付けます。
5. 【システム】から【外部】へ保存する場合は「保存」、【外部】から【システム】への登録の場合は「再登録」をクリックします。



※【システム】は、現在の実行環境【外部】は、保存先を表わします。

データ種別

データ保守ツールで扱うデータは、以下の通りです。

- ◆ 「DataEditor」 : DataEditor で使用した測量計算条件や CAD 編集の設定です。
- ◆ 「TOWISE CAD」 : TOWISE CAD で使われる CAD 編集の設定です。
- ◆ 「GUIDER ZERO」 : GUIDER ZERO で使われる CAD 編集の設定です。
- ◆ 「TOWISE CAD HC」 : TOWISE CAD HC で使われる CAD 編集の設定です。
- ◆ 「パーツ」 : 点・線・面・混合パーツで作成したパーツです。
- ◆ 「図枠」 : 図枠作成ツールで作成した図枠書式です。
- ◆ 「表」 : 表作成ツールで作成した表様式です。
- ◆ 「文書書式」 : 定型書式作成ツールで作成した文書様式です。

データ保守ツールの保存先について

データ保守ツールで保存したデータのフォルダ名は、以下の通りです。

- ◆ 「条件一括保存」 …… x:\¥VmapsBak
- ◆ 「共有素材の一括保存」 …… x:\¥VmapsShareBak
- ◆ 「条件保守ツール」-[DataEditor] …… x:\¥SVY_JDT
- ◆ 「条件保守ツール」-[TOWISE CAD] …… x:\¥TW_JDT
- ◆ 「条件保守ツール」-[GUIDER ZERO] …… x:\¥GZ_JDT
- ◆ 「条件保守ツール」-[TOWISE CAD HC] …… x:\¥HC_JDT
- ◆ 「条件保守ツール」-[パーツ・表・図枠・文書書式] …… x:\¥VmapsAppData.bak

※x:は保存先に指定したドライブになります。

ポイント

TOWISE インストールディスクイメージ内の「(仮想ドライブ)¥ InitBack¥」フォルダには、条件保守ツール形式のシステム提供初期値が圧縮ファイル形式(フォルダ付き)で5本収録されています。
(TW_JDT.zip、GZ_JDT.zip、SVY_JDT.zip、HC_JDT.zip、TbgAppData.Bak.zip)

ローカルドライブや外部メディアのルートフォルダへ、ファイル名と同名の圧縮内フォルダが作成されるように展開してご利用ください。

NTアプリケーションキー管理

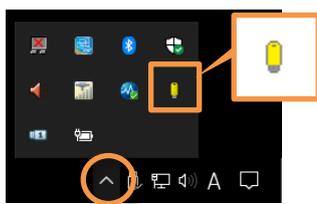
NT アプリケーションキー管理ツールは TOWISE と同時にインストールされ、キーコード（ユーザーコード）とアプリケーションの関係进行管理します。NT アプリケーションキー管理ツールを利用して、セキュリティキーを接続せずに TOWISE アプリケーションを利用できるように一定時間キーを取り外すこと（セキュリティキー方式の場合）や、ライセンスのアクティベーションやその解除といった操作（オンライン認証方式の場合）を実行できます。

ライセンス認証方式

セキュリティキー方式	TOWISE アプリケーションを実行する為にセキュリティキーが必要な方式です。セキュリティキーには、ソフトキータイプと USB メモリーキータイプがあります。
オンライン認証方式	インターネット上のサーバーでライセンスされたコンピュータを管理する方式です。 TOWISE アプリケーションを利用するにあたって、セキュリティキーや NT ネットワークライセンスサーバーは不要です。TOWISE アプリケーションを利用するには、インターネットへの接続環境が必要です。

管理ツール

NT アプリケーションキー管理がインストールされると、タスクバーの通知領域に「NT アプリケーションキー管理ツール」が登録されます。



ポイント

アイコンをドラッグしてタスクバーヘドロップすると、アイコンを常に表示しておくことができ、現在の状態の確認や、ツールダイアログの表示といった操作が簡単になります。



アイコンをクリックすると、NT アプリケーションキー管理ツールのダイアログが開きます。ダイアログで選択中のキーのライセンス認証方式に応じてダイアログの外観が変わり、キーに対して実行可能な操作が異なります。

ライセンス認証方式：セキュリティキー方式

アプリケーションの利用に、センチネルキーや USB メモリーキーといったセキュリティキーが必要な方式です。セキュリティキーの取り外しなどの操作を実行できます。



取り外し

一定時間セキュリティキーを取り外した状態で TOWISE アプリケーションを利用できるように設定します。取り外し状態でアプリケーションを利用できる時間は最長 24 時間です。

期限延長

取り外し期限を 24 時間後に更新します。

取り外し解除

取り外しを解除して通常の状態に戻します。

ポイント

これらの操作は、アイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューから実行することもできます。

キーの取り外し

セキュリティキーをコンピュータに接続し、[取り外し] をクリックします。処理に成功すると、アイコン形状が変化します。



取り外し可能なセキュリティキーの種類は、以下の通りです。

- ◆ スタンドアローン センチネルソフトキー
- ◆ NT ネットワークライセンス チェックアウトキー



注意: 以下のキーは取り外しできません

- ◆ USB メモリーキー
- ◆ NT ネットワークライセンス サーバーキー



ポイント

- ✓ キーを取り外して利用できるのは、最長 24 時間までです。
- ✓ 期限の延長にはキーが必要ですので、キーは常に手元に置いておく事をお勧めします。

取り外し中の残り時間の確認と通知について

セキュリティキーの取り外し設定中は、残り時間を通知領域のアイコン形状で表現します。



また、一定時間が経過すると、画面の右下に通知メッセージを表示します。キーの取り外し中は、アイコン形状と通知メッセージで残り時間を意識しながら作業してください。



ポイント

キーの取り外し設定中でも、コンピュータにセキュリティキーを接続すれば、残り時間を意識せずに TOWISE を利用できます。また、キーを接続しておく事で自動的に残り時間が延長されます。

取り外し期限の延長

取り外し期限の延長は、セキュリティキーを接続し、以下のいずれかの方法で行うことができます。

- ◆ NT アプリケーションキー管理ツールより、[期限延長] をクリックする。
- ◆ セキュリティキーを必要とする TOWISE アプリケーションを起動する。

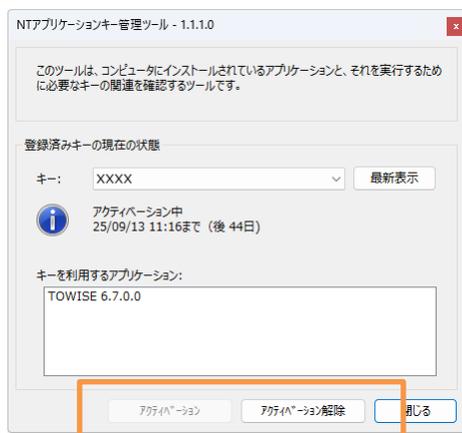
処理に成功すると、残り時間が 24 時間後に延長されます。

取り外し解除

コンピュータにセキュリティキーを接続し、[取り外し解除] をクリックします。コンピュータおよびセキュリティキーが通常の状態に戻ります。

ライセンス認証方式：オンライン認証方式

インターネット上のサーバーでキーコードとコンピュータの紐づけを管理する方式です。アクティベーションやその解除を実行できます。



アクティベーション

選択キーのライセンスを自コンピュータでアクティベーションします。アクティベーション中は定期的なインターネットへの接続が必要です。

アクティベーション解除

アクティベーションを解除します。他のコンピュータがアクティベーションできるようになります。

ポイント

これらの操作は、アイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューから実行することもできます。

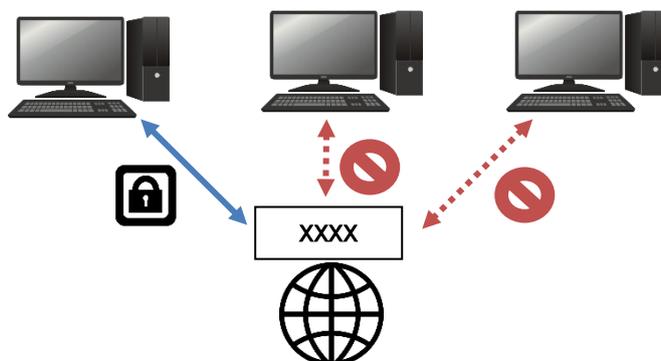
アクティベーション

コンピュータをインターネットに接続し、[アクティベーション] をクリックします。処理に成功すると、アイコン形状が変化します。



注意

コンピュータがアクティベーション中は、他のコンピュータはそのキーコードに対しアクティベーションできません。また、他のコンピュータがアクティベーション中のキーコードに対してアクティベーションすることはできません。



アクティベーション期間について

アクティベーションを実行すると、アクティベーションの有効期間として44日間を設定します。以降44日間は、インターネットとの接続を解除しても、TOWISEアプリケーションを利用することができます。また、TOWISEアプリケーションを起動した時に、定期的にインターネットに接続してキーコードとコンピュータの紐づけ状態を確認します。問題ないことを確認すると、有効期間を再び44日間に延長します。

ポイント

NTアプリケーションキー管理ツールを表示すると、インターネットに接続してアクティベーションの状態を確認し、状態に問題がなければ有効期間を再び44日間に延長しますので、有効期間を延長したい際に簡単に行うことができます。

アクティベーション中の残り時間の確認と通知について

アクティベーション中は、アクティベーション有効期間の残り日数を通知領域のアイコン形状で表現します。



また、一定時間が経過すると、画面の右下に通知メッセージを表示します。有効期限が近付いてきたときはインターネットに接続して NT アプリケーションキー管理ツールを起動し、期限を延長してください。



ポイント

インターネットに常時接続している環境であれば、1日に1度 TOWISE を起動する際にバックグラウンドでアクティベーション状態の確認を行い、アクティベーションの有効期限を自動的に延長しますので、有効期限を気にせずにご利用頂くことができます。

アクティベーション解除

コンピュータをインターネットに接続し、[アクティベーション解除] をクリックします。キーコードとコンピュータの紐づけが解除され、他のコンピュータがそのキーコードに対してアクティベーションできるようになります。

注意事項および制限事項

<セキュリティキー方式／オンライン認証方式 共通>

システム時計を変更しない

NT アプリケーションキー管理では、システム時計を利用した処理を行っています。動作中にシステム時計の変更が検出されると、有効期限管理機能が不能になり、TOWISE アプリケーションを実行できなくなりますのでご注意ください。

<セキュリティキー方式>

取り外し期限の延長にはセキュリティキーが必要

キーを取り外して利用できる時間は 24 時間に限定されています。期限の延長にはセキュリティキーが必要ですので、いつでも更新ができるよう、外出時には通常通りセキュリティキーも持ち出すことをお勧めします。

セキュリティキーを共有する他のアプリケーションについて

同じセキュリティキーを共有するアプリケーションがインストールされている場合、そのアプリケーションが本機能に対応していない場合は、キーの取り外し設定の状態を認識する事ができません。この場合、セキュリティキーを接続しても利用することができませんのでご注意ください。

取り外し設定中のセキュリティキーについて

取り外し設定中のセキュリティキーは、取り外し設定を行ったコンピュータ以外では利用できません。1 つのセキュリティキーを複数のコンピュータで利用する場合は、利用するコンピュータを変更する前に取り外し設定を解除する必要がありますのでご注意ください。

<オンライン認証方式>

インターネット環境が必要

ライセンスをアクティベーション／アクティベーション解除する際にインターネットへの接続が必要です。また、アクティベーションの有効期限の更新時にもインターネットに接続しますので、常時インターネットに接続できる環境でのご利用をお勧めします。

- ◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行:2025 年 10 月

株式会社 **ニコン・トリンプル**